

# 表紙絵の解説

題名：無題 作者：松本 和雄

今回初めてシルクスクリーンに挑戦してみました。

1. 版（原紙）は市販のベニヤの枠に、洋品店で購入した洋服裏地のポリエステル（300円/1m）を張り、ジゾア感光乳剤をスキージで3回塗って作りました。
2. パソコンでイラストレータ（Adobeのソフト）を使ってデザインし、黄・赤・黒をそれぞれ出力する。
3. 出力したプリント紙に光が透過し易いようにサラダ油を塗って半透明にする。
4. 版（原紙）にプリント紙を重ねて、太陽光線に60秒当ててから水洗いする。（黄・赤・黒の3版の製版完成）
5. 黄・赤・黒の順で刷る。

インクは水性のシルク用です。インクの使用量は多くて普通の10倍くらい使います。最後に黒を刷ったのですが、下の黄・赤色は完全に隠されています。反省は、印刷器はボール紙製のチャチな物なので、位置合わせが大変でした。この応用として版（原紙）は、ポリエステル原紙に苦労して感光乳剤を塗って試したところ、まあまあ製の版や刷りができました。

12月号の表紙絵は栗林さんです

## 11月の研究会 予定

日時：11月8日(日) 会場：新富区民館

### ◆午前の部（10：00～12：00）

1. 11月表紙絵の制作プロセス解説（指導：松本）  
シルクスクリーン印刷をどのように制作したかを解説します。

### ◆午後の部（13：00～16：00）

1. 3色を重ねて6色を表現する（指導：守田）
  - ・コロジオン原紙を使ってエビを刷ります。
  - ・一緒に作業する方は、次の道具を持参してください。  
印刷道具一式、コロジオン原紙（ハガキ大3枚）、描き液、筆、刷り紙（ハガキ）＊時間があれば新印刷器？披露（黒川）

2. 宿題：年賀状の原案・試作・作品など発表  
多数の発表をお願いいたします。

12月の講習担当は出丸さんです

## 10月の研究会 報告

### ◆午前の部（10：00～12：00）

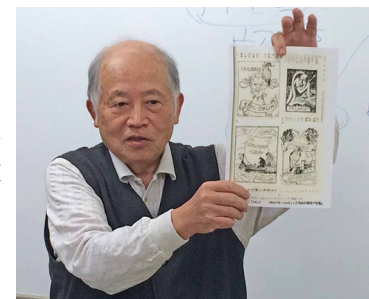
1. 10月表紙絵の制作プロセス解説（指導：高橋）  
谷川岳にケーブルカーで登ったときに、眼前に表れた山に圧倒された感動を表現したかったと言う想いが伝わる解説でした。反省点は作品の外枠（淵）が刷り色ごとに合わなかったので、テープであらかじめ枠ふせをしておけば良かった。



◀左：外枠の刷り色ががずれてしまった。原因はカッティングにあった。  
右：解決策としてテープで淵を止めていれば、上手くいったのにと反省していました。

### ◆午後の部（12：30～16：00）

1. 蔵書票における孔版画の世界（指導：末廣）  
整理された4部の資料配布と諸先輩や海外の蔵書票をファイルした多量の資料をもとに解説・説明していただきました。現在の作品数は352点で500点まで制作したいと夢も語ってくれました。



### 2. 第30回孔版画展について



生い立ち、作品、イベントの3つブロックで提案を出しました。生い立ちは、「朋の会」と「やその会」の時代から展覧会の案内状、会報、作品集を展示。はんの会時代からは、会報30冊（年1冊）展示。出品作品は、最大3点中に初期の作品（処女作）を入れても可。イベントは、はんの会は昭和に発足したということで、「私の昭和」というテーマで作品（はがきサイズ）を制作し販売もする。実演と一筆箋販売は実施する。歴史（年表）については目録に掲載する。いずれも原案なので、他に何かありましたら提案・改良案をお願いいたします。